

環境の保全・維持、社会との共生



RSPO 認証パーム油の使用

現代社会において、日用品から食品に至るあらゆる製品にアブラヤシの果実から採取されるパーム油が使用されており、当社でも原料や製造工程の一部で使用しています。世界的にパーム油の使用が増加している反面、その生産過程において森林伐採や労働者への人権問題が問題視されており、企業は自然環境と労働環境が保たれたサステナブルなパーム油の生産・調達が求められています。当社では、2019年10月に「持続可能なパーム油のための円卓会議(RSPO)※1」に加盟しRSPO認証パーム油(マスバランス方式※2)の使用を順次開始しています。2022年2月には、柏崎工場と新発田工場のポテトスナック製品群の工程においてRSPOサプライチェーン(マスバランス)の認証を取得しました。今後も使用製品の拡大を図り、環境保全と生産者の権利保護を目指してまいります。



4-1198-19-100-00

RSPO TRADEMARK



RSPO 認証油脂使用商品

- ※1 パーム油を採取するためのプランテーションの乱開発により、熱帯雨林が急速に失われていることへの対応として設立された非営利組織です。
- ※2 製造過程で、認証油と非認証油が混合される認証モデルです。物理的には非認証油も含んでいますが購入した認証油の数量は保証されています。

日本製の素材によるマスクが日本産業規格「JIS T9001」一般用に適合

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大が長期化していることに鑑み、日本製の素材を用いたマスクを2021年3月から、ブルボンオンラインショップで一般向けに販売をしています。

このような中、マスクの品質や性能に関する公的規格として2021年9月に日本産業規格「JIS T9001」が制定され、当社の「50枚入不織布マスク」が一般用マスクの規格に適合しました。

変異型ウイルスの発生など新型コロナウイルス感染症への対応が継続している中で、当社ではマスクの性能への不安を解消し、安心して快適な日常生活に寄与できるように JIS 適合に取り組んでまいりました。また、使用後のマスク廃棄に伴う環境汚染防止とウイルス飛散防止につながるよう「ポイ捨て禁止」と「適正な廃棄」を呼びかけるマークをパッケージに印刷しました。着用とともに廃棄のマナー啓発にも努めてまいります。



| 日本産業規格 JIS T 9001 一般用マスク 規格適合番号 G42108026 適合番号発行元: JSPIA | | | | | |
|--|-------------|-------------|-------------|------------|--------------|
| 試験項目 規格値 | PFE ≥95% | BFE ≥95% | VFE ≥95% | 花粉 ≥95% | 安全衛生 ・通気性 |
| 適合判定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 実測平均値 | 99% | 99% | 99% | 99% | |

※PFE: 微小粒子捕集効率
 ※BFE: バクテリア飛まつ捕集効率
 ※VFE: ウイルス飛まつ捕集効率
 ※花粉: 花粉粒子捕集効率
 【試験機関: (一財)カケンテストセンター測定】

JIS T9001 適合表示



ポイ捨て禁止



適正な廃棄をこころがけましょう。

「ブルボン花の輪運動」の実施 ～子供たちに“笑顔の花”を咲かせたい～

2015年度より、公益財団法人花と緑の農芸財団が主催する学校の花壇づくりを応援しながら子供たちの情操を育む社会活動「花の輪運動」へ協賛を継続して実施してきました。当社の本社や工場が立地する新潟県柏崎市内の小学校、特別支援学校をはじめとして、上越、長岡、新潟、新潟南、五泉、新発田、村上、羽黒の各工場立地地域の小学校等100校へ、1校あたりカレンデュラ、パンジーの苗それぞれ100株と、チューリップの球根100個、ムスカリの球根50個をお贈りしました。贈呈校をはじめ地域の皆様より、みんなで一緒に植え付けを行う姿や水やりなどの世話の様子、きれいに咲きそろった花々と子供たちが花を通して豊かに成長していく多くの姿など、うれしい反響を寄せていただきました。これからも、「ブルボン花の輪運動」の広がりを通して、“花の輪・人の輪・心の輪”により、子供たちの健やかな成長と、たくさんの笑顔につながっていくことを願っています。



学校花壇へ児童達が皆で協力しあいながら花を植え、開花までの課程を通して、植物に親しみ、命の大切さを学び、自然への優しさを育みながら「花いっぱいふるさと」を実現する活動の一助となることを目指します。



(花と緑の農芸財団 HP より <http://www.hananozaidan.or.jp/>)

2021 日本パッケージングコンテストにて菓子包装部門賞受賞

当社では製品の品質を維持しながら環境負荷低減につながる活動に継続して取り組んでいます。「プチポテト」シリーズにおいては、包装フィルムの薄物化を行う際に材質についても見直しを行い、フィルムの一部に植物由来プラスチックのバイオPETフィルムを採用しました。これにより、プラスチック使用量と二酸化炭素等の温室効果ガスの削減に寄与する設計とし、外装フィルムの薄物化で、年間約15トンのプラスチック削減、バイオフィルム採用により、年間約64トンの温室効果ガス削減が期待できます。同時に、薄物化とバイオPETと組み合わせることで、経済的なバランスも考慮しました。この取り組みは、公益社団法人日本包装技術協会より、プラスチック削減とバイオプラスチック採用によりトータルで二酸化炭素削減に寄与している点を評価いただき「2021日本パッケージングコンテスト※」において、菓子包装部門賞を受賞しました。



※日本パッケージングコンテスト：

時代と社会の要請に対応した、生活文化に優れたパッケージおよびその技術の開発普及に資することを目的として、公益社団法人日本包装技術協会が主催し毎年開催されているもので、2021年で43回目を迎えました。材料、設計、技術、デザイン、ロジスティクス、販売促進、アイデア、環境対応、適正包装など、あらゆる機能から各部門の年間優秀作品を選定します。



健康を重視した経営

従業員が心身ともに健康で、生きがいを持って働き続けられること、ならびに多様な人財が生き活きとその能力を發揮できる職場は、従業員の働く意欲を高め、生産性の向上や家庭生活の充実につながり、企業活動の発展と企業価値の向上につながるものと考え、「ブルボングループ健康宣言」を制定しています。

ブルボングループ健康宣言

1. 社員一人ひとりが大切な経営資源～人財～と捉え健康を重視した経営を推進します。
2. 心も体も健康で、明るく生き活きと働くことができる職場環境の構築に取り組めます。
3. 健康に関する会社の考え方や取組みを社員一人ひとりが理解し、自発的・積極的に健康の保持推進に努めます。



従業員の健康と企業活動の発展に資する取り組みを推進するにあたり、「生活習慣病対策」「メンタルヘルス対策」「働き方改善」「女性の健康推進対策」「禁煙対策」の5つを重点項目として掲げています。この度、経済産業省と日本健康会議が選定する「健康経営優良法人^{*}（大規模法人部門）」に認定をいただきました。

※「健康経営優良法人」認定制度：

地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。なお、健康経営はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

ダイバーシティ&インクルージョン (D&I) の推進

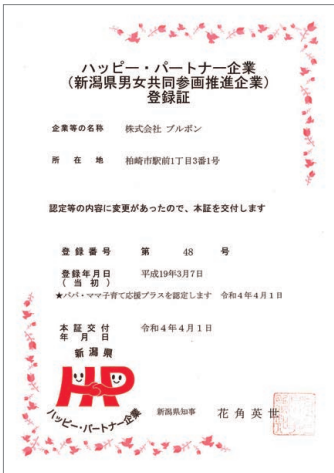
組織と個人の成果の最大化の実現を目指して、性別や年齢、国籍、社員自身や家族の状況、これまでの経験などの多様な背景をもつ社員が、それぞれの持ち味や個性を認め合い、能力を最大限活かし合う工夫や取り組みを推進しています。具体的な活動として、ダイバーシティ&インクルージョン (D&I) に関する会社方針ならびに、男女の育休取得率や社員の働き方に関する目標を策定し、2021年5月に全社横断のプロジェクトを立ち上げました。プロジェクトの活動により、社内の意識改革や業務改善、育児や介護等の両立支援に関する各種活動および施策の提言などを行いました。今後もこの活動を一つの柱として、D&Iの推進を迅速に効果的に進めてまいります。



若手社員に向けたフォローアップ

当社では、年代や役割に応じた様々な教育研修の機会を設け、経営方針や職場内のコミュニケーションスキルなど、職種を問わず必要な知識の習得を図っています。例として工場では、製造に従事する若年層社員を対象に、「設備に強いオペレーターの育成」を目的として設備講習を定期的実施しています。工場に多数ある生産設備を正しく理解し、基礎的な設備保全技術等を学ぶ事で、設備トラブルの防止と緊急時対応の強化を図っています。

次世代育成に関する支援



2017年6月に次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業として「くるみん」の認定を、(株)ブルボンおよび北日本羽黒食品(株)(現(株)ブルボン鶴岡工場)でいただきました。また、職場における男女共同参画や子育て支援などの取り組み推進企業として、新潟県知事より「パパ・ママ子育て応援プラス認定」が付加されたHappy・パートナー企業(新潟県男女共同参画推進企業)として登録いただいています。今後も制度や施策の充実を図り、男女ともに働きやすい職場環境づくりを推進してまいります。

「熱中症予防声かけプロジェクト」での活動



新潟県三条市役所福祉保健部健康づくり課主催「健康教室」ミネラル塩飴提供
 新潟県三条市役所福祉保健部健康づくり課主催「健康教室」(夏場は熱中症予防を中心とした講話を実施)等へ本プロジェクトロゴを使用したオリジナルパッケージの「ミネラル塩飴」提供、参加者へ配布。
 「熱中症」がメインテーマとなる講話ではもちろんですが、「熱中症」がメインテーマではない出張トークにおいても、ミネラル塩飴を持参することで短時間であっても、熱中症の予防について関心を持って聞いていただくことができました。(2021年7月5日)



引用：<https://www.hitosuzumi.jp/>

「熱中症予防声かけプロジェクト」に賛同し、2016年度より、発汗の季節に塩分やミネラルを手軽に補給できる「ミネラル塩飴」で参加しています。「熱中症予防声かけプロジェクト」は、「ちょっと、ひと涼みしませんか」と声をかけあうゆとりと気遣いで、熱中症予防を啓発する活動です。2021年度は新潟県三条市福祉保健部が主催した「健康教室(熱中症予防)」において、「ミネラル塩飴」の提供を通じて、熱中症予防啓発の活動を行いました。積極的に官民で連携し、多角的に展開をした取り組みとして、「官民連携部門優良賞」を熱中症予防声かけプロジェクト実行委員会よりいただきました。今後も継続して取り組んでまいります。

食育活動の推進



食育基本法の前文に従い、当社は社員へのeラーニングによる食事習慣や朝食摂取等の栄養改善教育・社内向けランチでのヘルシーメニュー提案、歯科検診・食と口腔ケアの重要性に関するセミナーの実施ならびに柏崎市内小学3年生を対象とした工場見学などを行ってまいりました。

この結果、2020年3月に「2020年度日本食育学会食育推進企業・団体」に認定を受け、2022年度も継続して認定をいただきました。これは、2018年に一般社団法人日本食育学会が創設した制度で、食育推進基本計画等に基づく積極的な食育活動を通じて、国民の健全な食生活の実現に多大な貢献をしている企業・団体等組織を認定する制度です。今後も、菓子・飲料・食品の開発・製造・販売を通じて、食育活動を推進してまいります。

“心と体の健康づくり”の推進

当社は、豊かな生活と健康に寄与する“食”の提供に加えて、CSR（企業の社会貢献活動）の一環で、“心と体の健康づくり”をテーマに、“文化・芸術”や“スポーツ”の支援と次世代育成の活動に取り組んでいます。

【文化・芸術支援活動】

○「めざましクラシックス」：“クラシックをもっと身近に！”をコンセプトにし、1997年にスタートしたカジュアルクラシックコンサートです。当社はその振興・発展にスタート時から支援しています。長年にわたり人気を集めており、東京での定期公演の他、夏季のサマースペシャル公演や地方公演にも支援の活動を拡げています。

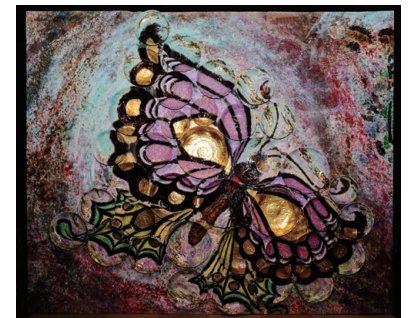


© フジテレビ

○「ドナルド・キーン・センター柏崎」：日本文学研究の第一人者であったドナルド・キーン氏の日本への思いや、研究・著作活動等歩まれた生涯を紹介する施設で、同氏の人となりや研究への情熱など真摯な生き方をお伝えする活動を支援しています。



TOPIX①：2021年は、ドナルド・キーン氏と30年もの間親交があった陶芸家・梅田純一氏の作品展示イベントを開催しました。陶芸作家の個展で作品購入による出会いから始まり、梅田氏の創作の地で地元の人たちとの交流を通して、町の図書館へのドナルド・キーン文庫の誕生など、キーン氏の人生を彩った梅田純一氏とのつながりを、陶芸作品を通して多くの来場者に感じていただきました。そこには、多忙な日々から離れ心置きなく語り合い、一人の人間として時を楽しむキーン氏の姿があり、日本文学研究者としての顔とは別の人生を楽しんだもう一つの素顔があります。



TOPIX②：新潟県中越沖地震の被害を受け、復興の一助としてドナルド・キーン氏が提案された古浄瑠璃「越後國・柏崎 弘知法印御伝記」の復活上演により「猿八座」との出会いがあり交流を深めています。



佐渡市に伝わる文弥人形ひとり遣いを継承する「猿八座」による人形浄瑠璃の公演を継続して行っています。2021年は説経「をぐり」の公開稽古と「阿弥陀胸割」の公演を行いました。

「をぐり」は、小栗判官と照手姫の物語で全六段を通し上演すると4時間近くかかる大作です。時間をかけて創り上げてきた「をぐり」五段目の墓割れ・照手車曳きの稽古を公開しました。現存する説経本の中でも「をぐり」は筋立てが変化に富み、場面の展開がスピーディーで、登場人物の情念が生き生きと描かれている作品と言われています。



また、「阿弥陀胸割」は、物語の浄瑠璃と操りの共演としては最古の演目のひとつと考えられています。貴重な記録からは400年前の当時、かなりのヒットであったことが伺える作品です。現代にこの作品を観ることができるのは大変貴重なものです。

○「囲碁」：囲碁は「頭のスポーツ」といわれ日本国内のみならず、世界各国で楽しまれています。当社は2013年から「全国高校囲碁選手権大会」への協賛を通じ、囲碁の普及・発展を支援しています。また、新人社員研修に囲碁教育を取り入れ、先を読む力の重要性を伝えています。



“心と体の健康づくり”の推進

【スポーツ支援活動】

- 「水球（ウォーターポロ）」：50年以上にわたり地元柏崎市で育まれてきた水球の伝統を発展させ、2010年に社会人チームとして発足した「ブルボンウォーターポロクラブ柏崎」をネーミングライツなどで支援しています。現在では社会人から小学生までの階級を有する日本最大級のクラブチームとして、社会人のトップ選手が小学生などへの指導を行うなど、次世代育成にも努めています。

また、当社は2011年からは水球の日本代表チームのオフィシャルパートナーとしてその発展にも関わっています。世界を目指して日々努力を続ける選手の支援と、スポーツの力による一体感や地域の活力を生み出す活動に取り組んでいます。

◆TOPIX：元 水球日本代表 志水祐介氏がアンバサダーに就任

志水祐介氏は、当社が立地する新潟県柏崎市で水球チーム「ブルボンウォーターポロクラブ柏崎」に所属していた選手時代に、2016年リオデジャネイロオリンピックと東京2020オリンピックに水球男子日本代表として出場しました。水球界で常に日本を代表するトップ選手として、またポセイドンジャパンの精神的な支柱として日本の水球界を牽引し続けてきました。

2022年に多くの選手や水球関係者、地元市民などに惜しまれながら現役を引退し、今後は「身近なオリンピック」として次世代の水球オリンピック選手育成の夢をもって日本全国で活動を展開していく予定です。当社は、持久系アスリートに向けた、勝つためのスポーツ栄養プログラム「ウィングラム」ブランドでこれからの志水祐介氏の活動をサポートし、次の夢の実現を応援し続けます。

- 「ダンススポーツ」：最近国民的生涯スポーツとしても注目を集めており、その普及・振興を支援しています。日本国内のトップを決める「三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権」には2007年から協賛活動をスタートし、また次世代を担うジュニア・ユース選手のトップチームの活動をネーミングライツでも支援しています。

- 「スケートボード」：新潟県村上市を拠点に、スケートボード競技の認知向上と、人々の心身の健全な発達と社会の発展を目指す一般社団法人日本スケートボーディング連盟の活動を応援しています。

当社は主にスケートボード大会への協力を通じ、スケートボードスポーツの振興をサポートしています。

- 「自転車競技」：スポーツ支援を通じた地元への社会貢献活動として、新潟食料農業大学（新潟県胎内市）自転車競技部に持久系スポーツ栄養商品「ウィングラム」シリーズを提供しています。活用していただくことで選手の更なる成績向上につながる活動支援を続けています。食とスポーツの融合をテーマに活動を進め、食品と健康に関する研究への相乗効果を期待しています。サポート開始に際して、2021年6月に合同で発表会を開催しました。

